

住民主体で福祉のまちづくりを推進する情報交流紙です

よつ葉のクローバー KIKUSUI

No.48 2011.8.1



福まち通信

菊水福祉のまち推進センター運営委員会
札幌市白石区菊水6条4丁目3-10
電話 011-887-7006 FAX011-887-7006
URL <http://kikusui-net.jp>

第36回 白石区ふるさとまつり



片倉鉄砲隊と甲冑武者見参

7月16日と17日の両日、白石区役所駐車場を会場に「白石区ふるさとまつり」が開催されました。生憎の天気で特に16日の前夜祭は雨模様でしたが、多くの区民が参加しました。

華やかなステージプログラムの中で最も異色であったのが、宮城県白石市から参加した「片倉鉄砲隊と甲冑武者」の皆さんでした。

初代白石城主片倉小十郎景綱は伊達政宗の側近中の側近で、伊達軍参謀として活躍しました。早くから戦いにおける鉄砲の威力を認め、白石城下には鉄砲鍛冶を置くなど、大量の鉄砲の保有に務めました。これが慶長20年(1615)大阪夏の陣で伊達軍先鋒隊を率いて大阪方を撃破したときの勝因になったといわれています。

17日に行われた片倉家に伝わる古式鉄砲研究会「片倉鉄砲隊」(遠藤篤志隊長)による火縄銃の演武は、警察の許可がおりなかったため、火薬を用いての迫力ある砲声を聞けなかったにしても、あぐらをかいて撃つ「諸折放ち」など4種の射撃法が、片倉小十郎景綱に扮した隊長から紹介されました。

第1回高齢者のふれあい交流会開催

菊水地区福祉のまち推進センターでは、毎年2回「高齢者のふれあい交流会」を開催して今年で7年目を迎えます。今年第1回目の交流会は、6月30日(木)午前10時から菊水地区会館で行われました。



参加者の皆さん

高齢者の皆さんは三々五々連れ立って会場にこられます。元気に歩いてこられる人に混じって、車で送られてくる人たちがいます。なかには車椅子に乗ったまま会場である2階に運ばれる人もいます。



細野運営委員長

細野運営委員長の挨拶のあと、交流会は定刻に始まりました。最初は菊水一夜漬け劇団による寸劇です。

介護予防せ劇「菊子さんに元気度チェックリストが届くの巻」

菊子さん(82歳)は10年前に夫に先立たれ一人暮らしをしています。去年幼馴染の友達に先立たれたことで落ち込んでしまい、閉じこもりの状態です。



少し運動しないと歩けなくなるよ

娘の秋子がいり物を届けに来て、「少しは外に出て運動しないと歩けなくなるよ」と声をかけます。

秋子が帰宅途中、東日本大地震の義捐金募金活動をしている民生委員さんたちの一行と出会います。そうして、民生委員さんから「ふれあい交流会」に菊子さんを誘うよう促されます。



ナレーターの小関さん

ある日、妹の俊子が菊子を訪ねてきて、役所から「元気度チェック」がきていることや「ふれあい交流会」でこれについての話があることなどを話し、一緒に交流会に行く約束をします。



東日本大震災への義捐金お願いします

閉じこもりがちだった菊子さん。おいしい昼ごはんにつられて「ふれあい交流会」にやってきました。そこで保健師の高梨さんから元気度チェックリストの説明を聞き、二人でやってみました。その結果運動能力は菊子さん5点、俊子さんは3点でした。

「お姉さん、3点以上の方は介護予防に気をつけるように言われたわ…」ということで、俊子さんは包括支援センターに電話してみることにしました。後日、白石区第2包括支援センターの担当職員が菊子さん宅を訪れます。

「先日の元気度チェックではお二人とも運動機能の低下が認められ、定期的な運動が必要ということになりました。」「ご希望があれば、老人福祉センターでやっているストレッチ中心の教室と、健康づくりセンターでの機械を使った運動機能訓練の二つのうちどちらかを選んで利用することができます」



美味しいもの食べに行きたいね



元気度チェックをして介護予防に努めましょう

菊子さんと俊子さんは「筋肉向上トレーニング」に通うことになり、その結果今まで行きたくても行けなかったいろいろなところに出歩けるようになりましたとさ…。めでたし、めでたし。

キャスト

ナレーター	第2包括支援センター	小関さん
菊子	介護予防センター	菊地さん
秋子	介護予防センター	菅野さん
俊子	菊水南連町	横濱さん
民生委員	菊水民児協会長	鈴木さん
区保健師	白石区保健支援係	高梨さん
包括職員	第2包括支援センター	宮崎さん
ナターシャ	白石区社協次長	佐藤さん
社協職員	白石区社協	竹内さん

健康相談コーナー



元気度チェックコーナーでは、早速チェックリストに取り組



むお年寄りの姿がありました。介護予防劇の効果がこんなにすぐ表れるのかと、なんだか嬉しくなりました。

その隣では、保健師さんに血圧測定をやってもらうお年寄りがいっぱい。みんな健康には充分気をつけておられるのですね。

手作りコーナー

今回の工作は、携帯電話のスタンド作りに挑戦しました。テーブルごとの指導員に作り方を聞きながら、皆さん熱心に紙を折り、糊付けをして可愛いスタンドを作りました。



ランチタイム

次はお待ちかねのランチタイムです。

ボランティアの皆さんが、昨日から材料の仕込をして朝早くから用意をしてくれていたのです。メニューは、五穀入りご飯にけんちん汁と酢の物がつきます。デザートにはプリンとバナナがつく豪華版です。



今回のふれあい交流会には、来賓として白石区から高川保健福祉部長と立野保健担当部長がご参加されました。高川部長から、このような交流会を通じて地域の絆をしっかりと結び、孤独死のような悲劇をひとつでも防ぐことに務めていただきたい。またスタッフの皆さんのご苦勞をねぎらうとのご挨拶がありました。



区役所高川部長の挨拶



ショータイム

ランチタイムが終わるとお待ちかねのショータイムです。

「リズム・ファンタジー」の皆さんによるナツメロが流れると、参加者の皆さんから手拍子や小さく口ずさむ声が漏れてきます。「大阪ラブソディ」「湖畔の宿」や、最近の「襟裳岬」「鳥取砂丘」などの生演



奏に次第に酔いしれていく姿が見られました。

松本京子歌謡教室から二人のシンガーが参加してくれました。「白い海峡」「吾亦紅」などの歌声が会場に響き渡ります。

勧められて会場から二人の方が歌ってくれました。

西町の勝田まき子さんは「長崎の鐘」上町の村井和夫さんは「津軽平野」を生オケで堂々と熱唱すると、会場から激励の拍手が鳴り止みません。

小一時間楽しんだあと「きよしのズンドコ節」の大合唱で幕を閉じました。

演奏をしてくれた「リズム・ファンタジー」の皆さんは、バンドマスターの宮森さん(83歳)をはじめ平均年齢64歳のいわゆるシルバープレイヤーです。長い経験を生かして、高齢者や障がい者施設で行われる心を癒す「音楽療法」の支援活動を続けておられます。



上町の村井さん



今年もご寄付いただきました

マックスバリュ菊水店さんから、今年も「幸せの黄色いレシート運動」の成果としてのご寄付を頂きました。有難うございます。

「幸せの黄色いレシート運動」は、毎月11日をイオンデーとしてお客様に黄色いレシートをお渡しし、お客様の自発的行動でそれを回収ボックスに投函していただいています。回収されたレシートの売り上げ金額の1パーセントを地域のために活用していただこうと今回のような贈呈を行っているのです。

6月29日、福まち佐藤事務局長がマックスバリュ菊水店において洗剤4種192個を頂きました。

大切に福まち活動に使わせていただきます。



災害時季援護者避難支援についての学習をしました

7月6日のよつクロ編集会議に、先月号に掲載した投稿者「登り口さん」をお招きして、障がい者などの避難支援について意見交換を行いました。

この問題解決のためには、町内会と障がい者の間にある諸問題の深い理解と、解決に至る有効な方策が必要との学習を深めました。



編集後記

今月号は「高齢者のふれあい交流会」特集号になりました。早いもので7年目を迎えます。地域の皆さんにすっかりなじんだせいか、今回は心なしかいつもより参加者が多いようです。このようなイベントを通じて人と人の絆が深まることこそ、福まち活動の意味するところなのでしょう。(枝元編集員)